



# ら び っ く La・BOOK

10月号

No.16

## 人と本と図書館をつなぐ

### 図書館フェスタを満喫！ ありがとうございました

2日間で、延べ3,453人(みらい来館者数)のみなさんが来られた。オープニングセレモニーに続いて開いた「リサイクルコーナー」(市図書館の3,500冊に加え、県立図書館の500冊)は特に人気。開館前から並び、じっくりと手にとって選んでいました。

子ども向けおはなし会やTKJBスイングキッズコンサート、朗読ライブ、カードケース・小さな本・ふくろうを作る各講座も好評でした。

長谷川義史絵本ライブは、ホール一杯に笑顔がこぼれ、すてきな一時を過ごしました。



スイングキッズ

#### みなさんからの声・声

- 子どもの読み聞かせ以外に、コンサート、朗読ライブ、工作と1日楽しめるものばかりでとても充実の2日間。うれしいです。
- 企画が良かった。リサイクル図書なども楽しみにしており、それなりに充実したものがあった。
- 「絵本はただ読むだけではなく、楽しみながら読む」読み聞かせの楽しさを再発見できた講演会でした。
- 笑いあり、ちょっぴり涙ありの素敵な講演会でした。ウクレレでの歌も、明るく楽しめました。本人に出会えてよかった。
- 図書館員の方と交流ができてよかった。

#### 三郷図書館

#### 奮闘!?調べもの日記(レファレンス)

#### 「十返舎一九は、なぜ安曇野に？」

今からちょうど200年前(1814年/文化11)、十返舎一九が安曇野にやってきました。成相組(豊科)の大庄屋、藤森善兵衛宅に宿泊した後、栗尾道を通って満願寺(穂高)へ行っています。一九は『続膝栗毛』の中で、満願寺を舞台にした野次喜多騒動をおもしろおかしく描いています。



その背景には、狂歌仲間であった松本の本屋、高見甚左衛門(現高見書店)らが、売れっ子作家であった一九を当地に招きたいという強い願いがあったからです。

当時、ベストセラーとなっていた『東海道中膝栗毛』の影響もあって、全国的な旅行ブームが巻き起こっていました。そこで、『続膝栗毛』の中で安曇野を取り上げてもらい満願寺や松尾寺(穂高)への札所巡り等の観光効果を期待したからです。



満願寺 微妙橋

#### 【関係資料】

- 『一九が町にやってきた』鈴木俊幸著 2001年『信濃道中記—続膝栗毛』
- 信大教育学部附属長野中学校編 1994年『常念山麓』中島博昭著 1998年
- 『十返舎一九が安曇野にやってきた』中島博昭著(安曇野文芸第27号)安曇野文芸の会 2013年
- 『信濃路の十返舎一九』唐木伸雄著 1986年

#### 私と図書館

私の図書館との付き合いは、小学校の学校図書館から始まる。6年間ほぼ毎日通った。中学・高校時代は部活に没頭し、図書館への足は遠ざかり、大学では附属図書館の専門書に囲まれた。

そして今は、休日に家族で出かける定番の場所の一つになっている。2人の子どもたちも「図書館では走らない、大きな声を出さない」と、自分たちで言うてから入館するまでにな

った。  
借りていけるのは専ら絵本だが、棚を見て歩き、題名をみては興味をそそられ、自分の中の「いつか読む本」のリストに入れておくのが今の楽しみ方だ。そしていつか家族で図書館へ行き、それぞれに楽しみ、カウンター前で待ち合わせなんて事ができる日を楽しみにしている。

(30代女性)



# 9月貸出ランキング

## 一般書

- 1 宰領／今野 敏
- 〃 夢幻花／東野圭吾
- 3 夜明けの街で／東野圭吾
- 〃 ロスジェネの逆襲／池井戸潤
- 〃 正義をふりかざす君へ／真保裕一
- 6 神様のカルテ3／夏川草介
- 〃 桜ほうさら／宮部みゆき
- 〃 流星の絆／東野圭吾

## 児童書

- 1 かいけつソロリシリーズ／原ゆたか
- 2 バムとケロのシリーズ／島田ゆか
- 3 ぴょーん／まつおかたつひで
- 5 がたんごとんがたんごとん／安西水丸

## AV資料

- 1 崖の上のポニョ／宮崎駿監督
- 2 ソウルの動く城／ダイアナ・ウィン・ジョーンズ
- 〃 魔法の宅急便／角野栄子
- 4 ゲゲゲの鬼太郎／本木克英監督
- 〃 チャーリーとチョコレート工場／ティム・バートン監督
- 〃 ハリー・ポッターと賢者の石／クリス・コロンバス監督
- 〃 ハリー・ポッターと謎のプリンス／テイビット・イエーツ監督
- 〃 魔法にかけられて／ケヴィン・リマ監督

## 中央図書館の

# 児童書テーマコーナー ～おいしいものがたり～

「読書の秋」「食欲の秋」です。おいしい食べ物が出てくる本を集めてみました。いっぱい読んで、きっとお腹はこわさないと思いますよ。  
秋の夜長に「おいしいものがたり」を、たくさんめしあがれ！



### ☆メニュー

- ・どしよかんのパンやさん 『からすのパンやさん』『パンやのくまちゃん』  
『プレッツェルのはじまり』『魔法の宅急便』
- ・ものがたりにでてくるおいしいもの 『ぐりとぐら』『11ぴきのねことあほうどり』『狐笛のかなた』
- ・ながのけんのおいしいもの 『リンゴ畑の12か月』『さんねんごい』『たっくんのおにぎり』
- ・パイ 『アップルパイはどこいった?』『村は大きなパイづくり』『パイがらたつあったおはなし』



## 編集・発行・お問い合わせ



- 中央図書館 ☎ 84-0111  
 豊科図書館 ☎ 71-4022  
 三郷図書館 ☎ 76-3078  
 堀金図書館 ☎ 72-5796  
 明科図書館 ☎ 62-1122

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)  
<http://www.city.azumino.nagano.jp/tosho/index.htm>

## 本のソムリエ(職員) おすすめ本

### 一般書 『知っておきたい長野県の日本一』

加瀬清志／信濃毎日新聞社

### 表紙

“日本一”ってちょっと気になりませんか？長寿の他に、ワサビ、クルミ、古酒、味噌、美術館、校歌、花火、土偶など100項目もの長野県の日本一が、エピソードと共に紹介されています。普段何気なく接している身近なものが意外や意外“日本一”ということも…。都道府県別幸福度ランキング総合1位にもなった長野県ですが、改めてその良さを感じられる一冊です。(中央図書館一般書担当)

### 児童書 『ラモーナとおとうさん』

ベバリイ・クリアリー／学研

### 表紙

8歳のやんちゃな女の子、ラモーナの大好きな日はおとうさんの給料日。「何かいいことがあるはず」とおとうさんの帰りを待っていたラモーナでしたが、実は一家にある大きな試練が待ち受けていて…。大騒動を起こしながらもひたむきで一生懸命なラモーナと、それをありのまま受け止める家族の愛情にほっと心が温まる物語です。(中央図書館児童書担当)

### ※編集後記※

今年も、中学生が職場体験にやってきた。学校や家でのあいさとは違い、利用者の方とのコミュニケーションが一番大事な図書館のような仕事に就くために勉強したいとの礼文が届いた。中学生議会も行われた。安曇野市の中学生は、輝いてる。

